



やまざき くにひろ  
**山崎 邦廣** 議員

## 問 新庁舎を拠点に交流の拡大は

## 答 休日利用や物販機能充実を検討

「秋祭りの踊りの競演」や「まちなかイベント」など、これまでJRバス葛巻駅構内で四季ごとに開催していた「まちなかイベント」が課題となってくると思われる。

一方、現時点で集約される機能は、主に平日における利用が中心となることから、土日・祝日における「誘客」や「賑わいの創出」が課題となってくると思われる。

「行政機能」「商工金融機能」「防災機能」「医療機能」を1カ所に集約することで、町民の利便性の向上はもとより、1カ所に誘客されることで賑わいの創出が図れていくものと思っている。

「町長」庁舎の整備では、新たな町の拠点としての「行政機能」のほか、「交流機能」「商工金融機能」「防災機能」「医療機能」を1カ所に集約することで、町民の利便性の向上はもとより、1カ所に誘客されることで賑わいの創出が図れていくものと思っている。

### 拠点機能の拡充

「議員」新庁舎の複合施設機能拡充について考えを伺う。

また、これまでの使用料や他の施設の使用料など、公共施設等の使用料設定については、一般的に施設の整備費用を耐用年数で割り返した額を占有面積で按分し、さらに「月」「日」「時間」などで割り返して単価を算出している。

「町長」公共施設等の使用料設定については、一般的に施設の整備費用を耐用年数で割り返した額を占有面積で按分し、さらに「月」「日」「時間」などで割り返して単価を算出している。

また、この他にも商店や産直、飲食店などといった機能が加わることで、新たな町の拠点としての魅力が更に高まり、町民の皆さんの利便性が向上するものと思われることから、今後、機能の拡充について検討したい。

### 施設使用料の設定

「議員」公共施設等の使用料設定について考え方を伺う。



様々な活動が総合センターを会場に開催されています

など大きな乖離が生じないように調整することや、利用者である町民への負担度合い、あるいは使用料から見た利便性、冷暖房設備の使用など、総合的に判断して設定する。

その他、これまでも各施設の使用料については、利用用途や利用団体などにより条例等で減額や免除の措置についても調整したいと考えている。

3月4日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



しばた いさお  
**柴田 勇雄** 議員

## 問 新庁舎建設の情報公開は

## 答 設計・外観確定後に公開

「議員」新庁舎建設に当たって、建設情報が全く町民に公開されていない。新庁舎建設の対応等を問う。

「町長」町民への情報提供は、設計プランの修正や外観デザイン等の内容が確定次第公表する。「新庁舎棟」の工事は、今年度前期に着工し、完成は33年（2021年）3月を予定。その後、既存施設の現庁舎、総合センター、保健センターを解体し、「消防分署棟」「車庫棟」の建設や職員駐車場等の外構工事を行い、35年3月までに全ての工事が完了の見込み。

### 新庁舎等の建設内容

「議員」新庁舎建設に当たって、建設情報が全く町民に公開されていない。新庁舎建設の対応等を問う。



新庁舎には総合センター機能も含まれます

事業費は庁舎棟で約30億円、分署棟で約4億5千万円、車庫棟で約1億5千万円、外構・解体・設計管理で約4億円、総事業費は約40億円。新庁舎には多目的ホールや会議室、研修室等を整備予定であるが、これまでの総合センターの利用形態を踏襲する考えで、必要に応じて飲食などでもできる町民利用としたい。

### 今後の高齢者サービス

「議員」町の高齢者福祉の構築を今後どのように図るか伺う。

「町長」当町の人口は6232人（30年10月1日現在）。65歳以上の高齢者人口は2795人で高齢

化率は44・8割。世帯数は2746世帯で高齢者世帯の総数は1163世帯（41・6割）の実態。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「医療」「介護と予防」「住まい」「日常生活支援」を包括的に提供する「地域包括ケアシステム」が重要。また、「地域の課題把握」「社会資源の発掘」「地域関係者による対応策の検討」「決定・実行」の「業務の継続的改善サイクル」による事業推進のため、地域ケア会議で医療と介護の多職種連携の充実・強化を図りたい。少子高齢化社会の中、高齢者を支え、ニーズや状態の変化に応じたサービスを切れ目なく提供するため、介護現場の人材確保、在宅介護による家族や悩みなどへの対応が必要と考える。